

株式会社 MORESCO

小さくとも世界にきらりと光を放つ企業を目指して

第6 1 期定時株主総会

(2018年3月1日～2019年2月28日)

東証第一部5018（石油・石炭製品）

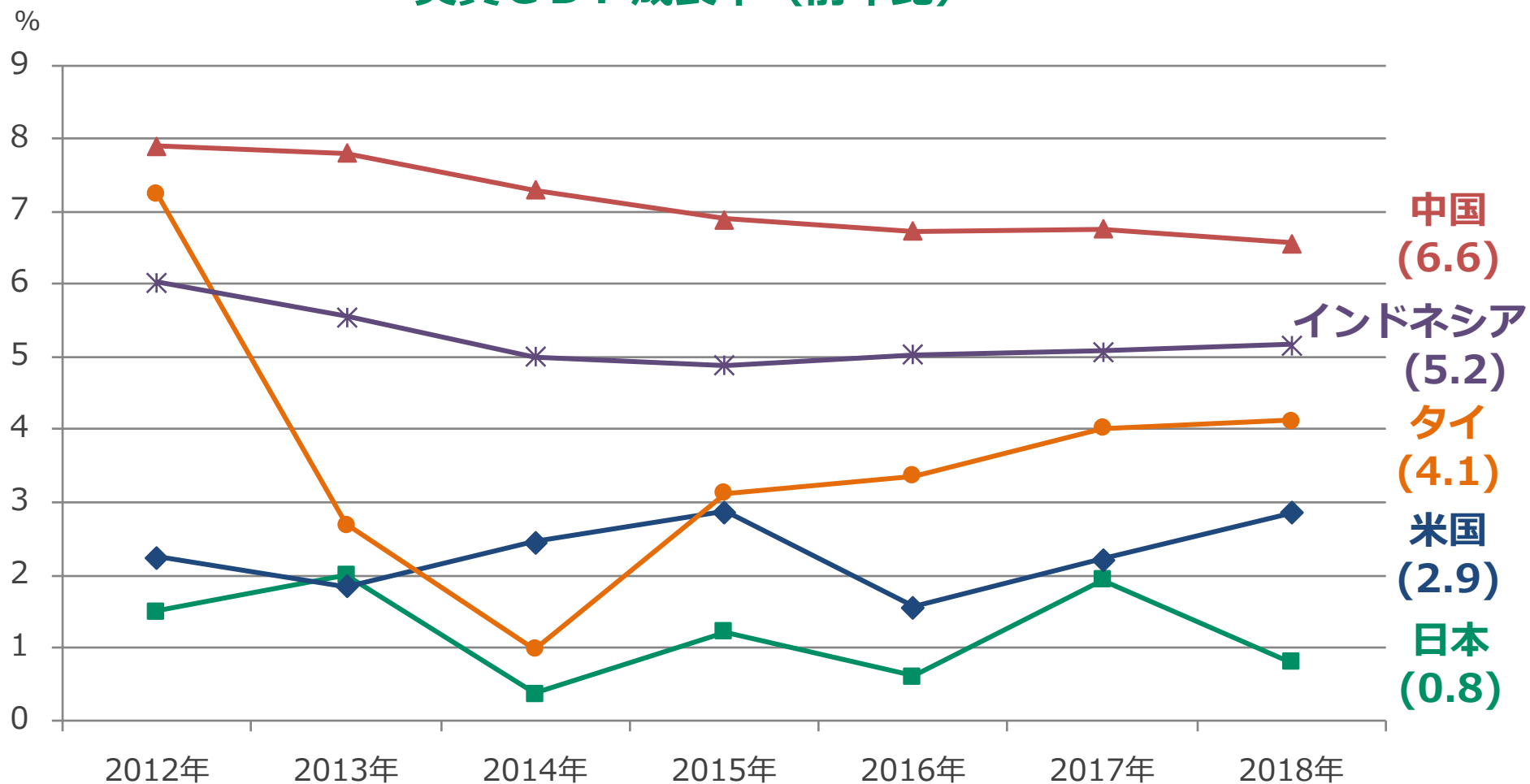
2019/5/28

第 6 1 期

1. 事業報告ならびに連結計算書類のご報告

実質GDP成長率（前年比）

出展：IMF World Economic Outlook
Databases



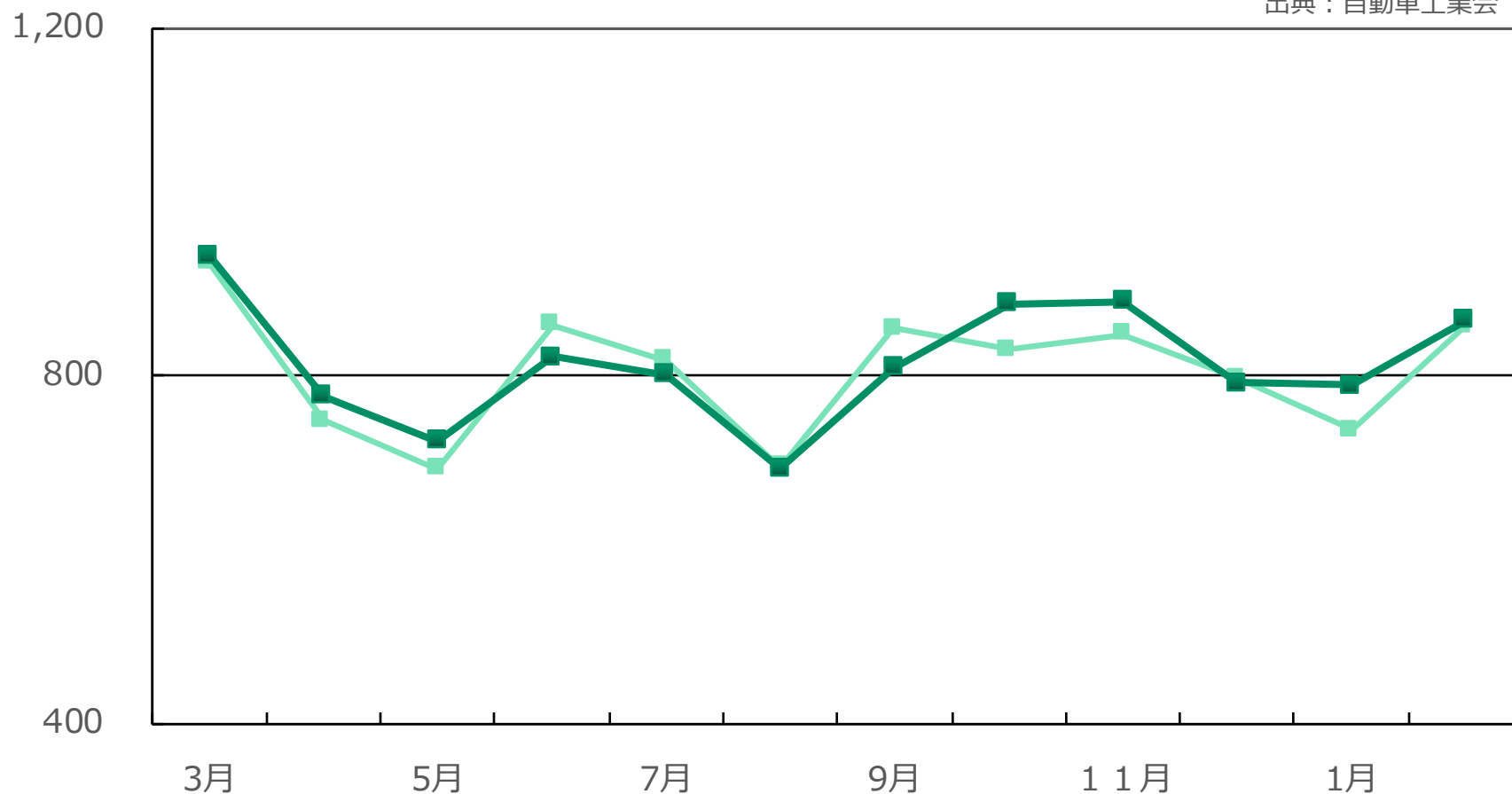
国内 月別 自動車生産台数

2017.3-2018.2

2018.3-2019.2

単位：千台

出典：自動車工業会

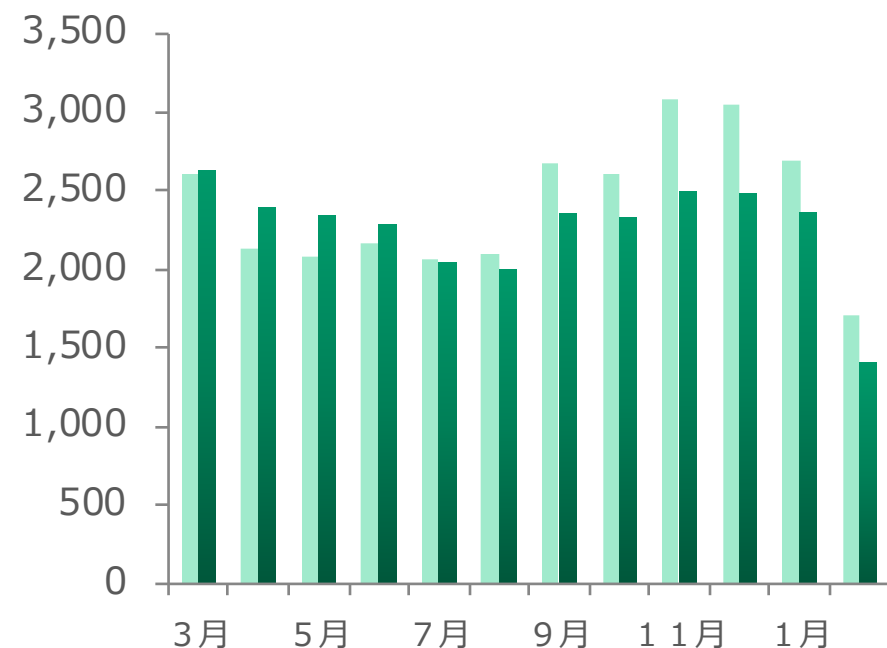


海外自動車生産台数の推移

■ 2017.3-2018.2
■ 2018.3-2019.2

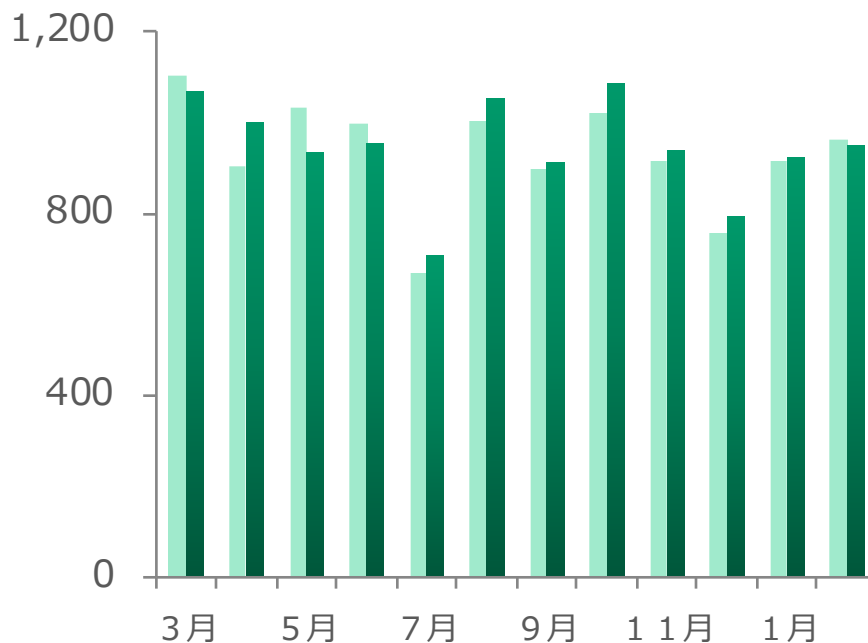
中国

単位：千台



アメリカ

単位：千台



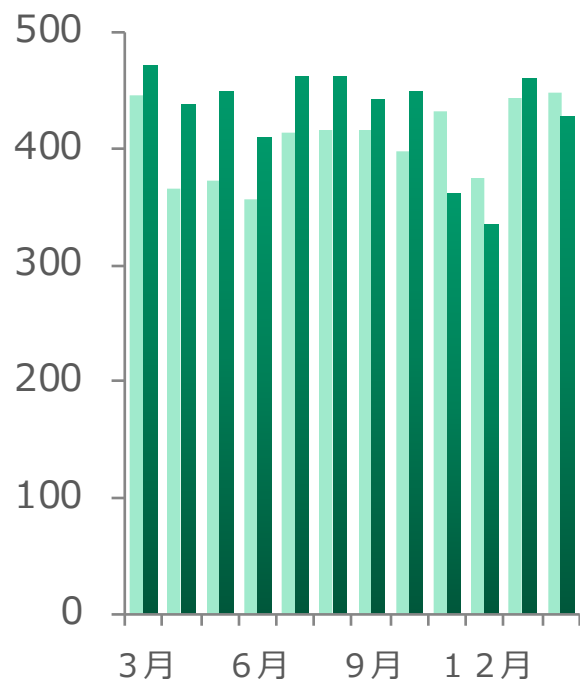
出典：マークライnz社

海外自動車生産台数の推移

■ 2017.3-2018.2
■ 2018.3-2019.2

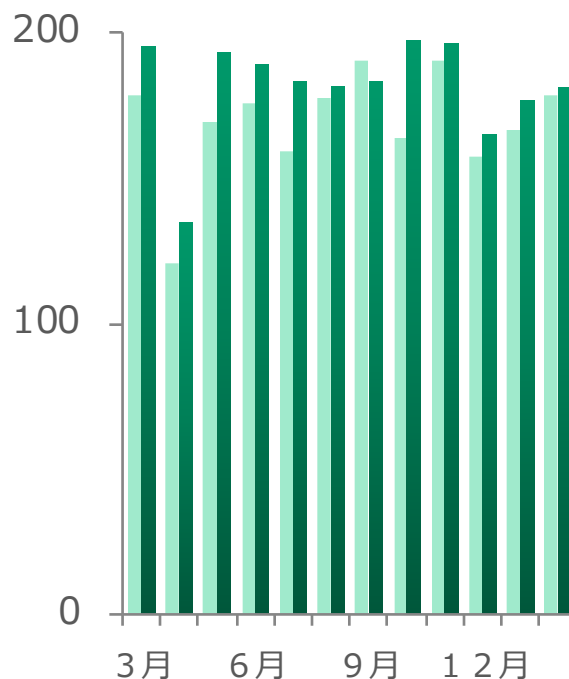
インド

単位：千台



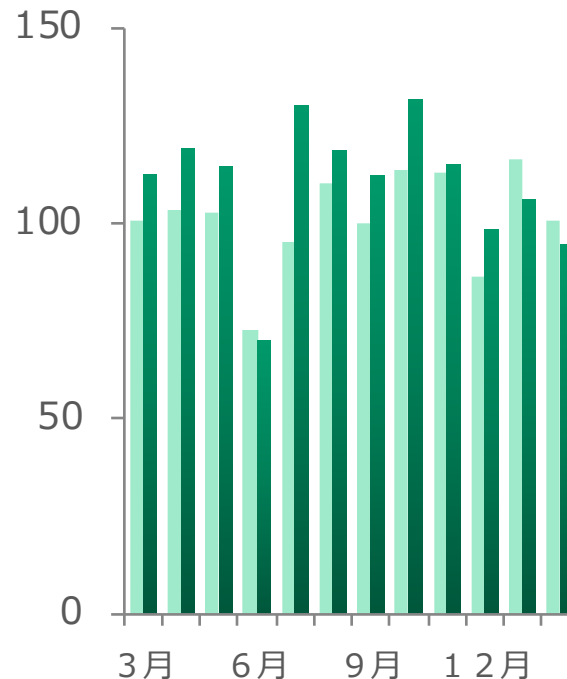
タイ

単位：千台



インドネシア

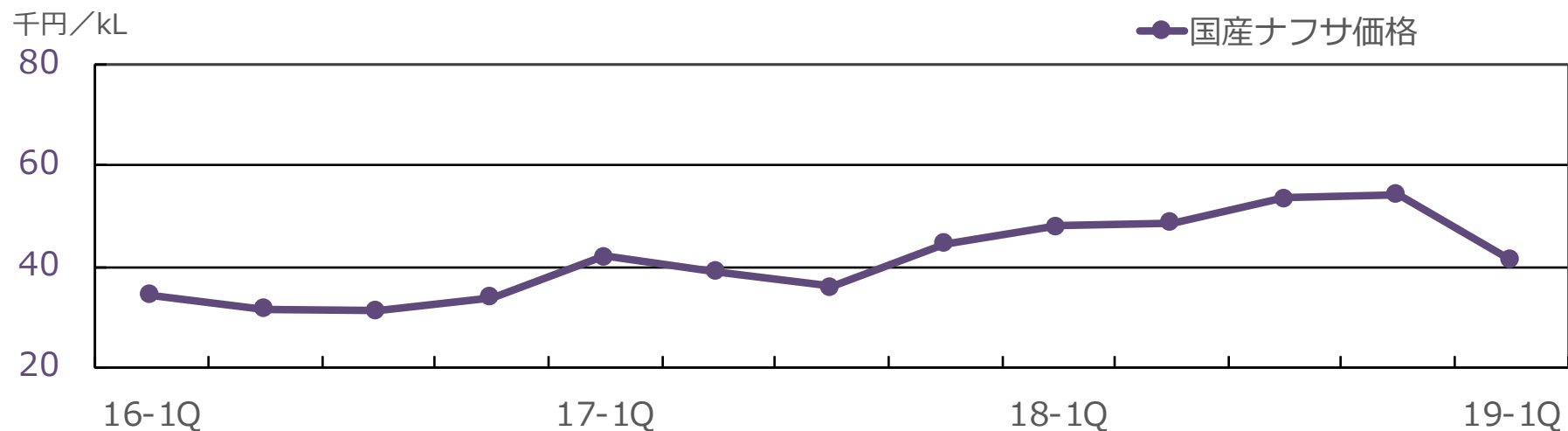
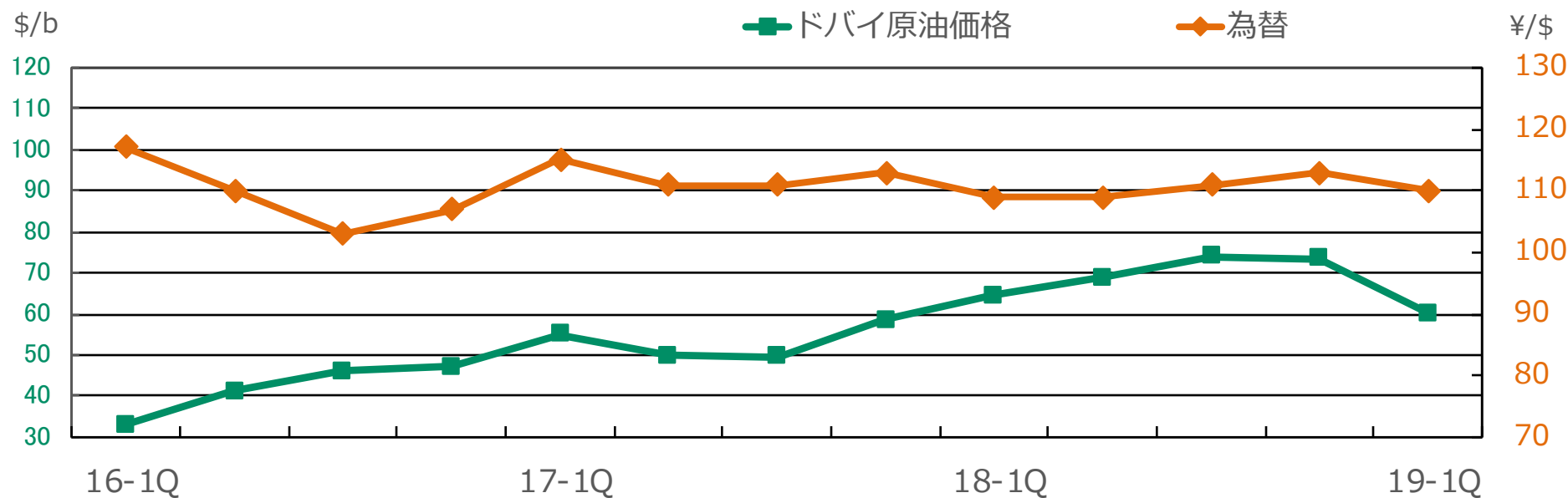
単位：千台



出典：マークライズ社

当期の経営環境（5）

MORESCO



- 売上高は増加した一方、原材料価格上昇、ハードディスク表面潤滑剤の出荷減少等により利益は減少

単位：百万円

科目	18 / 2期	19 / 2期	前期比
売上高	27,922	28,806	+3.2%
売上総利益	9,516	9,319	△2.1%
販管費	7,187	7,369	+2.5%
営業利益	2,330	1,950	△16.3%
営業外損益	270	252	△6.7%
経常利益	2,600	2,202	△15.3%
特別損益	0	76	—
税引前利益	2,600	2,278	△12.4%
当期純利益 (※)	1,623	1,438	△11.4%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

部門別売上高の内訳

MORESCO

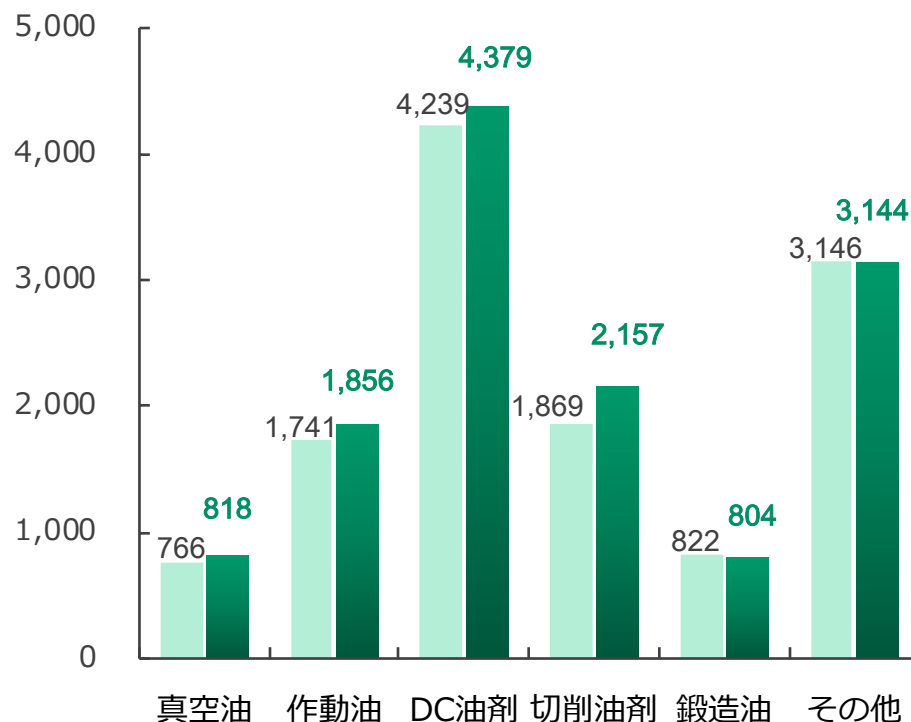
単位：百万円

科目	18 / 2期	19 / 2期	前期比
特殊潤滑油部門	12,583	13,158	+4.6%
合成潤滑油部門	2,743	2,602	△5.1%
（うち、HD潤滑剤）	(1,483)	(1,271)	△14.3%
素材部門	3,576	3,874	+8.3%
ホットメルト接着剤部門	7,274	7,318	+0.6%
その他	1,693	1,800	+6.3%
化学品事業計	27,869	28,752	+3.2%
ビル事業	53	53	+0.0%
売上高合計	27,922	28,806	+3.2%

- 部門全体の売上は前年比4.6%増（13,158百万円）
数量は0.5%増

単位：百万円

■ 18/2期 ■ 19/2期



➤ダイカスト用油剤

顧客での堅調な生産状況に加え、
水溶性少量塗布型離型剤の拡販
により好調。

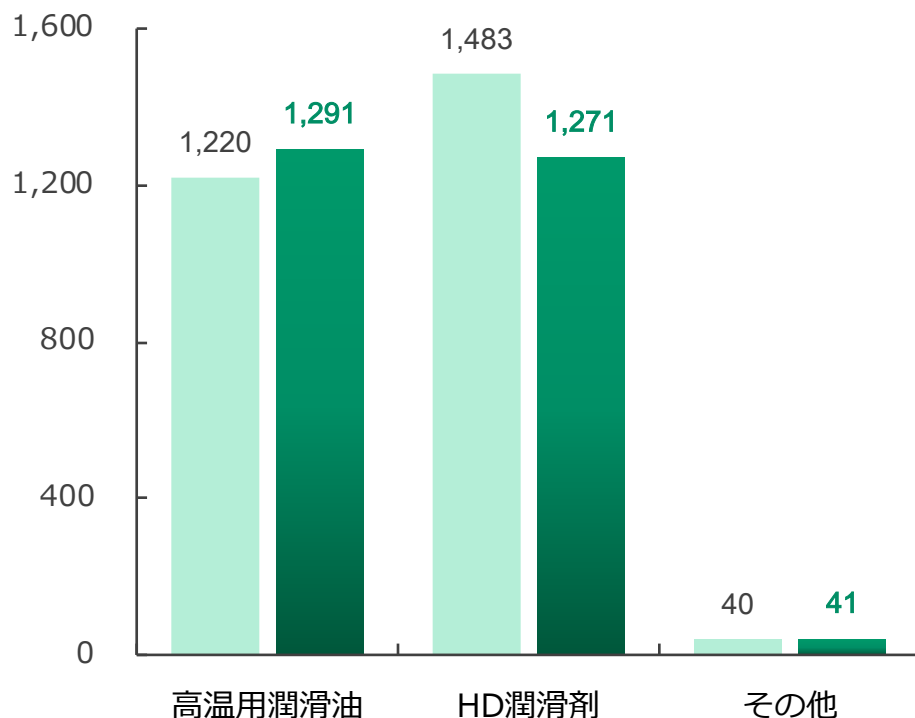
➤切削油剤

国内外における既存顧客への
増販および
新規顧客の獲得により好調。

- 部門全体の売上は前年比5.1%減（2,602百万円）
数量は4.2%増

単位：百万円

■ 18/2期 ■ 19/2期



➤ 高温用潤滑油

自動車向けグリース用途

顧客での輸出増により好調。

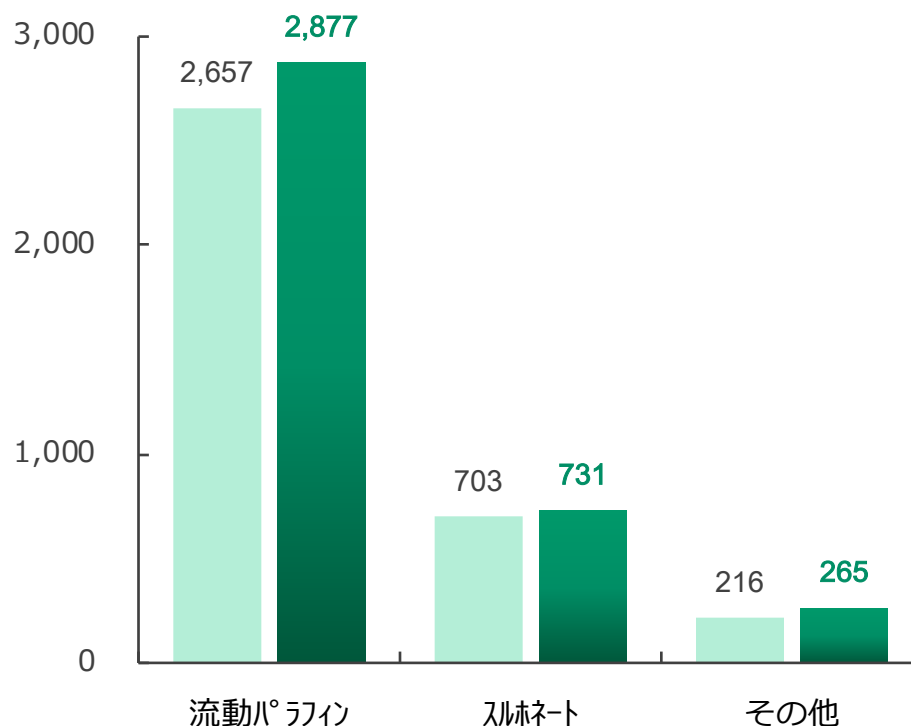
➤ ハードディスク表面潤滑剤

ハードディスクドライブ市場の
縮小により減少。

➤ 部門全体の売上は前年比8.3%増（3,874百万円） 数量は0.8%増

単位：百万円

■ 18/2期 ■ 19/2期



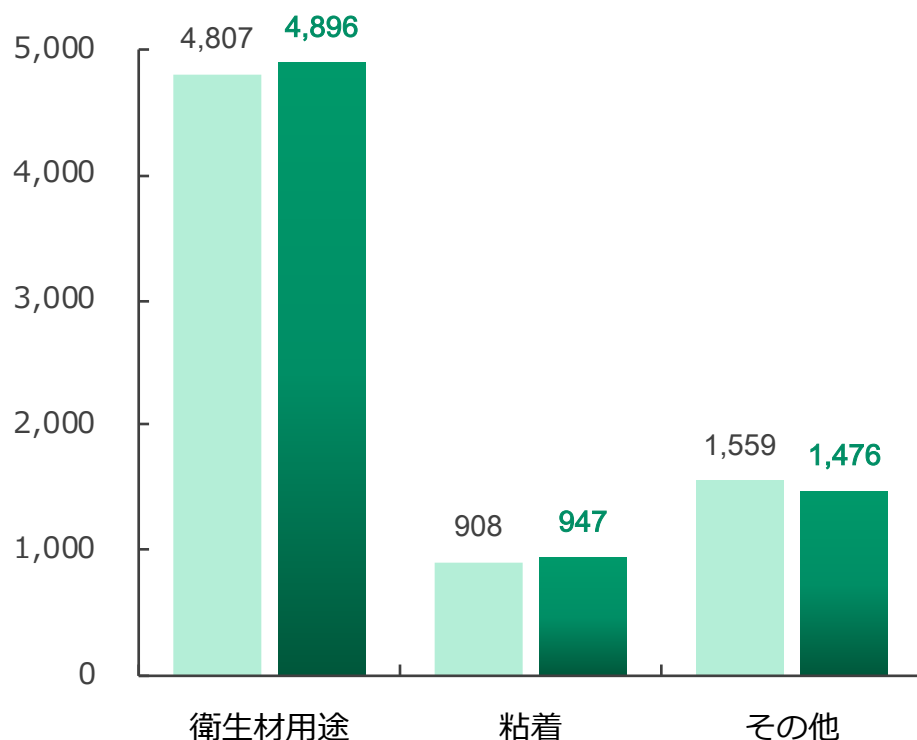
➤ 流動パラフィン

数量面では、ポリスチレン可塑剤用途等で減少した一方、医薬、化粧品用途等で増加したことにより、前期比微増。材料価格値上げに伴う製品価格改定により売上は8.3%増加。

➤ 部門全体の売上は前年比0.6%増（7,318百万円）
数量は4.7%増

単位：百万円

■ 18/2期 ■ 19/2期



➤衛生材用途

国内顧客での販売減の影響を受け、前期比微増。

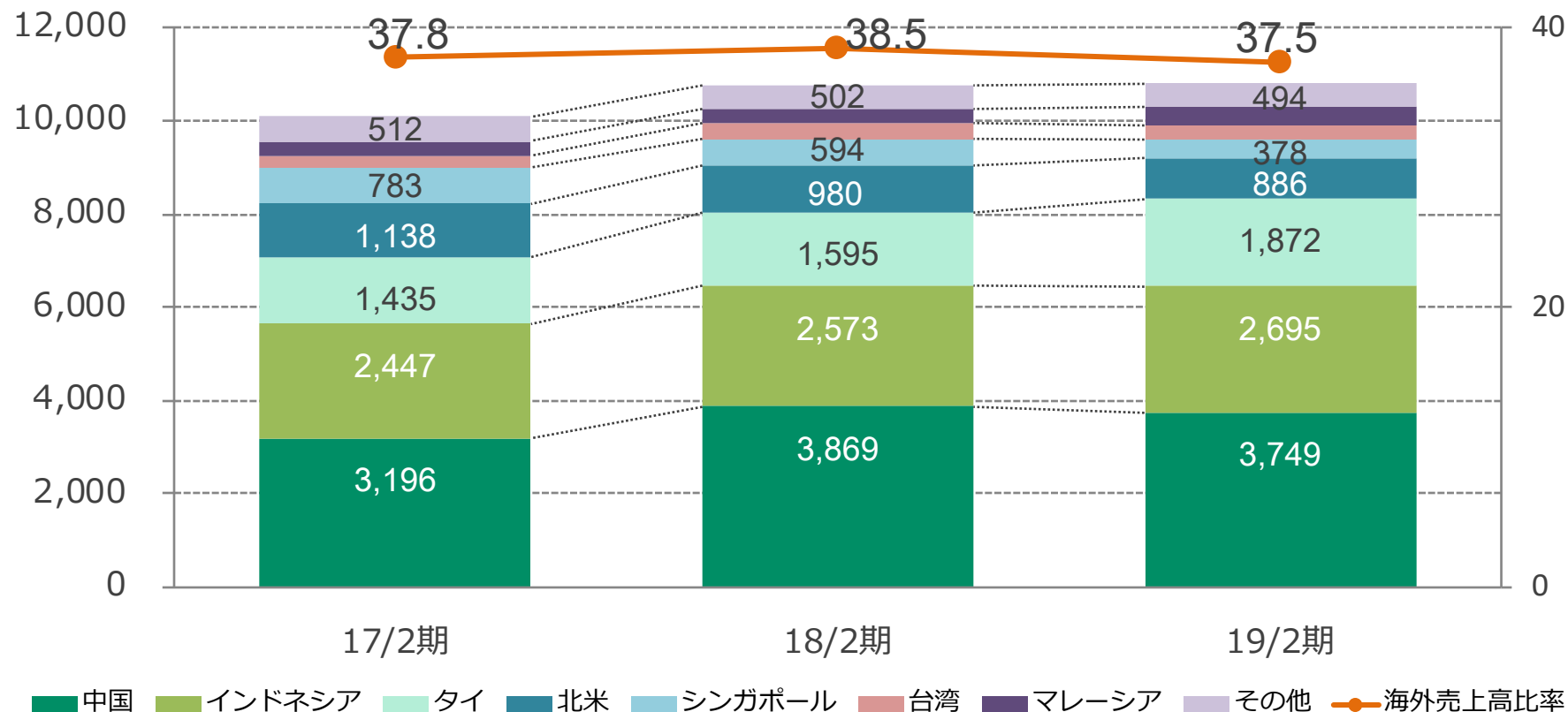
➤粘着用途

国内および中国においてラベル用途で売上が増加。

- 中国では自動車生産台数減少により減収になった一方、東南アジアは自動車関連製品の出荷が好調に推移。またホットメルト接着剤についても既存顧客の増販、新規獲得により好調

単位：百万円

単位：%



決算概要 連結損益計算書

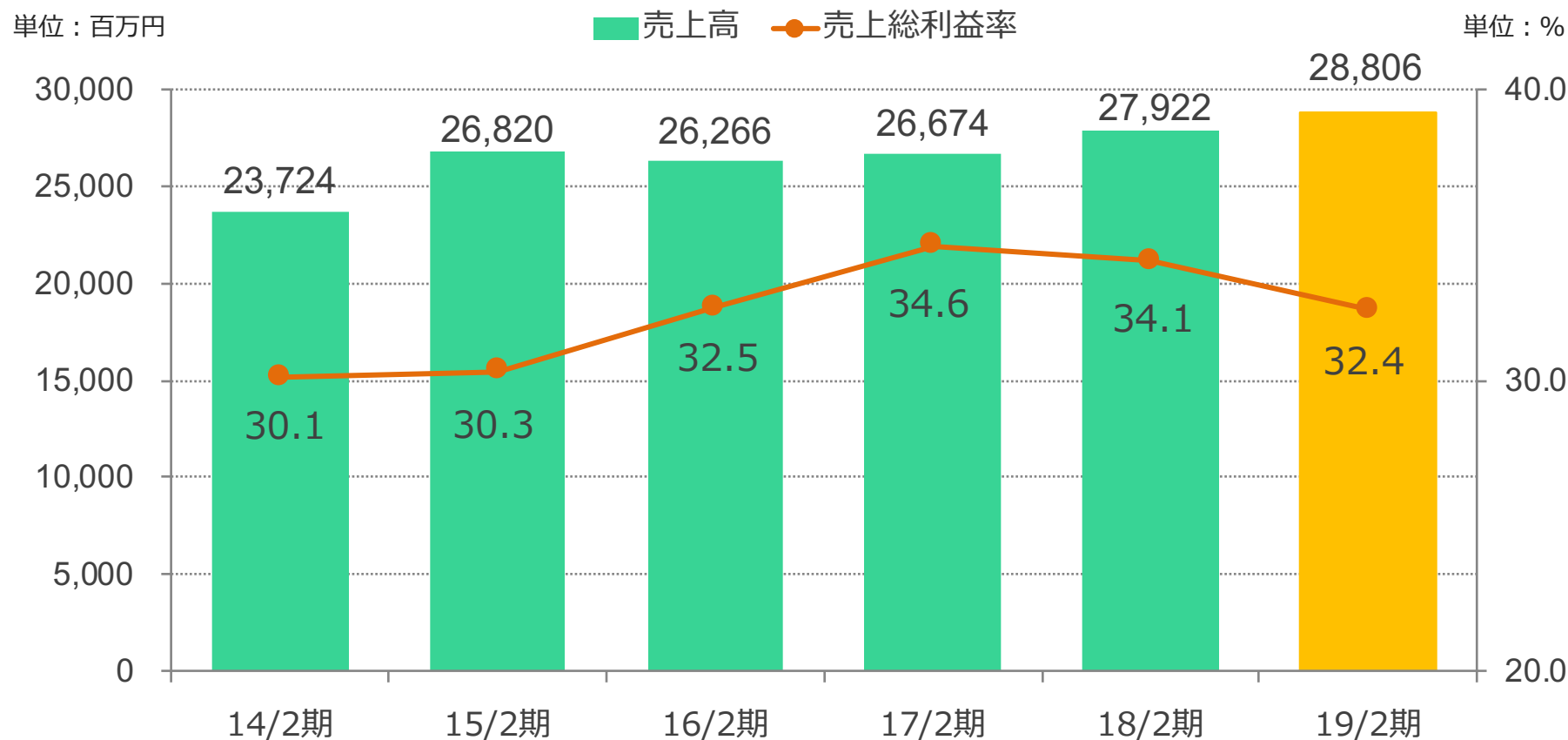
MORESCO

単位：百万円

科目	18 / 2期	19 / 2期	前期比
売上高	27,922	28,806	+3.2%
売上総利益	9,516	9,319	△2.1%
販管費	7,187	7,369	+2.5%
営業利益	2,330	1,950	△16.3%
営業外損益	270	252	△6.7%
経常利益	2,600	2,202	△15.3%
特別損益	0	76	—
税引前利益	2,600	2,278	△12.4%
当期純利益 (※)	1,623	1,438	△11.4%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

➤ 売上高は増加した一方、原材料価格の上昇に伴い、売上総利益が減少



決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	18 / 2期	19 / 2期	前期比
売上高	27,922	28,806	+3.2%
売上総利益	9,516	9,319	△2.1%
販管費	7,187	7,369	+2.5%
営業利益	2,330	1,950	△16.3%
営業外損益	270	252	△6.7%
経常利益	2,600	2,202	△15.3%
特別損益	0	76	—
税引前利益	2,600	2,278	△12.4%
当期純利益 (※)	1,623	1,438	△11.4%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。

単位：百万円

	18 / 2期	19 / 2期	増減	前期比
販売費・一般管理費	7,187	7,369	+182	+2.5%
うち、研究開発費	1,270	1,416	+146	+11.5%
売上高販管費比率	25.7%	25.6%	➤経費の増加要因 ●研究開発費・人件費等の増加	
売上高研究開発費比率	4.6%	4.9%		

決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

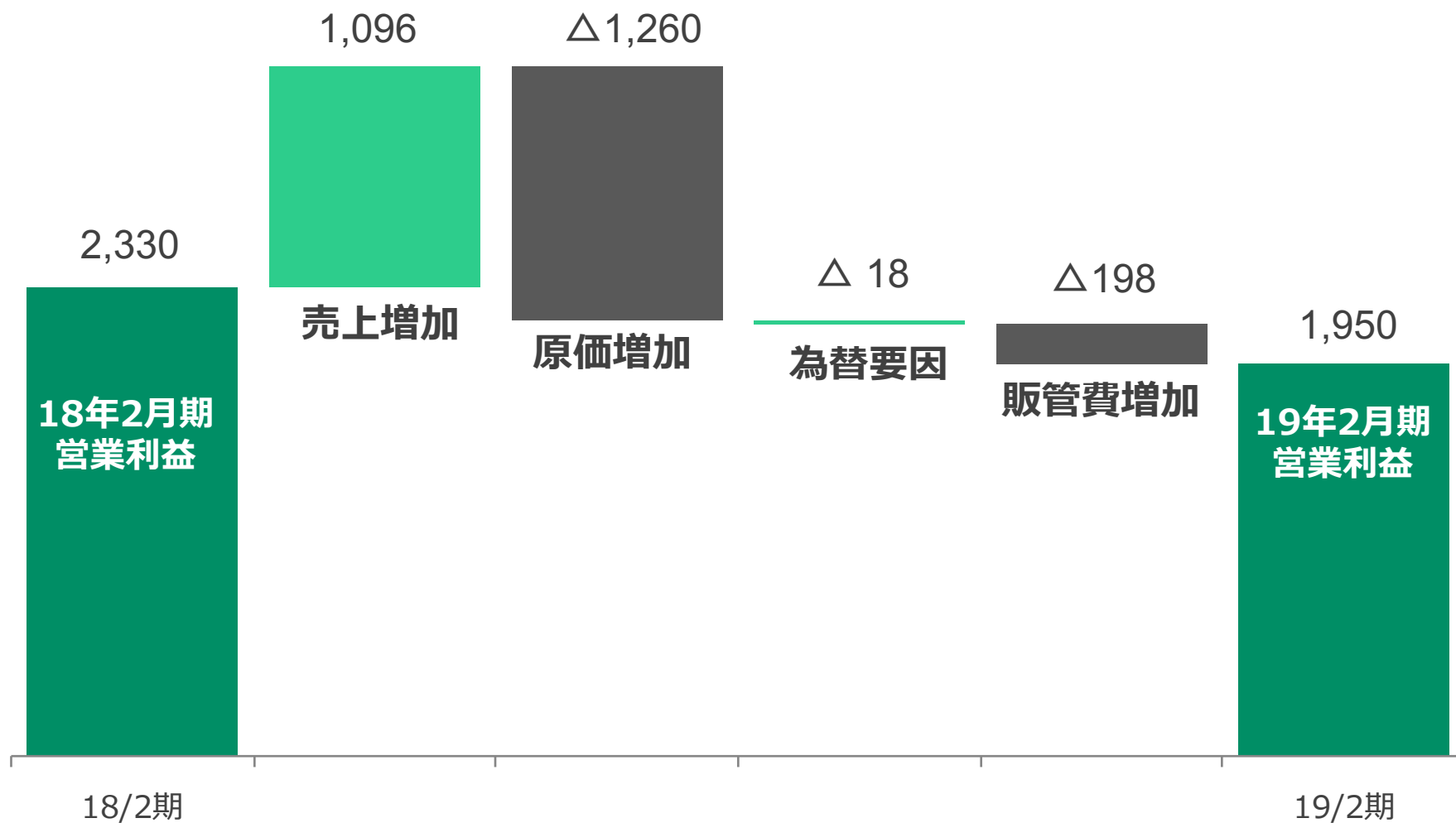
科目	18 / 2期	19 / 2期	前期比
売上高	27,922	28,806	+3.2%
売上総利益	9,516	9,319	△2.1%
販管費	7,187	7,369	+2.5%
営業利益	2,330	1,950	△16.3%
営業外損益	270	252	△6.7%
経常利益	2,600	2,202	△15.3%
特別損益	0	76	—
税引前利益	2,600	2,278	△12.4%
当期純利益 (※)	1,623	1,438	△11.4%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。

営業利益変動要因

MORESCO

単位：百万円

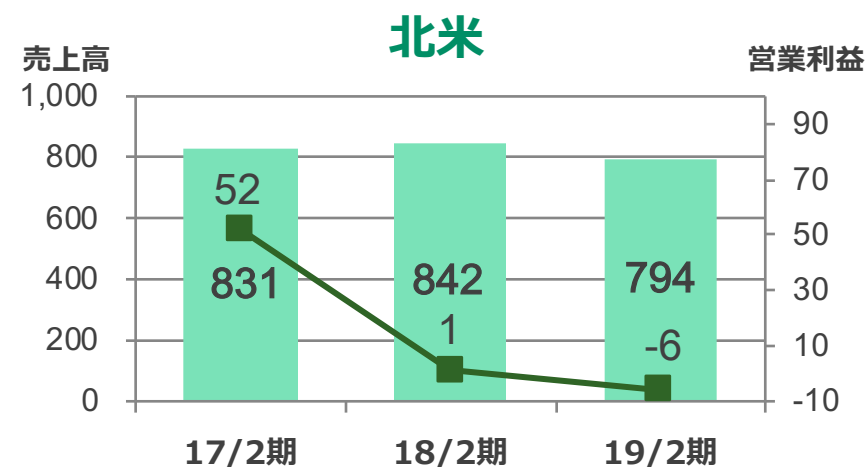
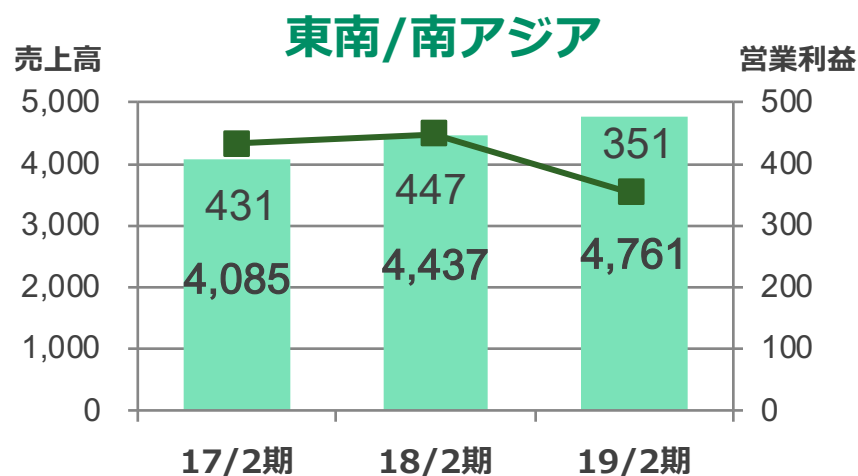
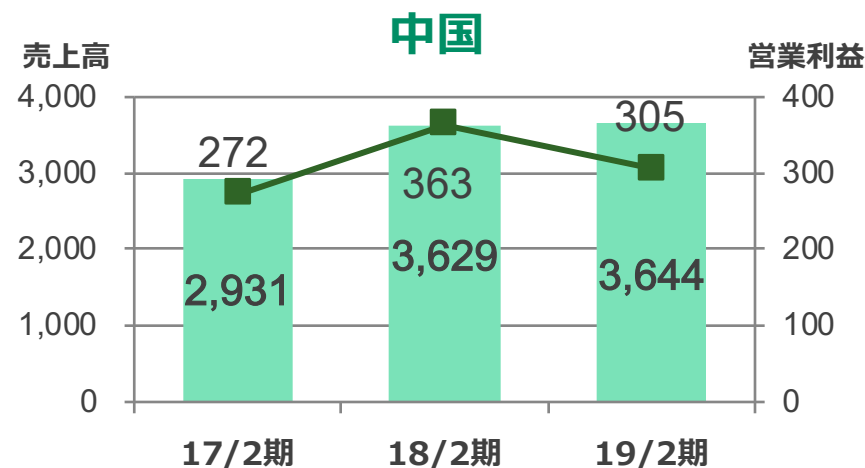
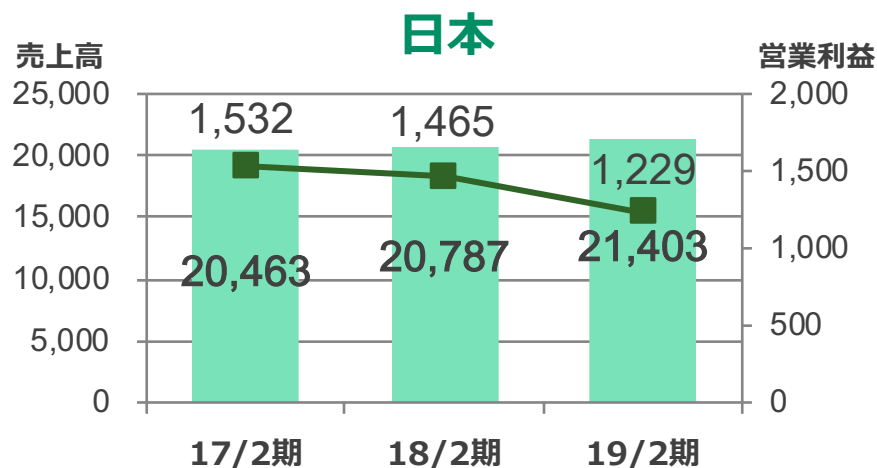


地域別損益（連結）

MORESCO

■ 売上高 ■ 営業利益

単位：百万円



決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	18 / 2期	19 / 2期	前期比
売上高	27,922	28,806	+3.2%
売上総利益	9,516	9,319	△2.1%
販管費	7,187	7,369	+2.5%
営業利益	2,330	1,950	△16.3%
営業外損益	270	252	△6.7%
経常利益	2,600	2,202	△15.3%
特別損益	0	76	—
税引前利益	2,600	2,278	△12.4%
当期純利益 (※)	1,623	1,438	△11.4%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。

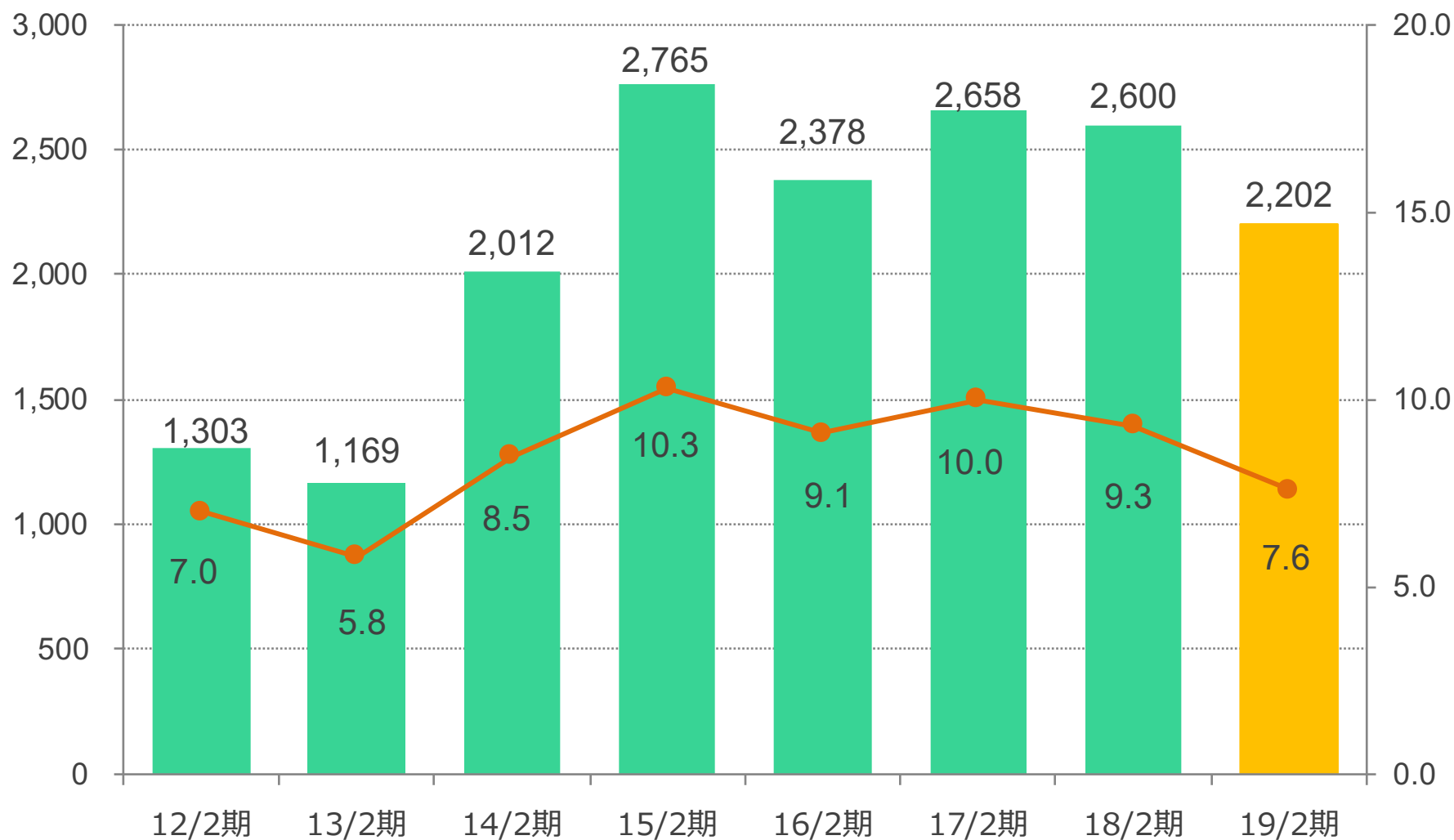
経常利益、売上高経常利益率の推移

MORESCO

単位：百万円

■ 経常利益 ● 売上高経常利益率

単位：%



決算概要 連結損益計算書

MORESCO

単位：百万円

科目	18 / 2期	19 / 2期	前期比
売上高	27,922	28,806	+3.2%
売上総利益	9,516	9,319	△2.1%
販管費	7,187	7,369	+2.5%
営業利益	2,330	1,950	△16.3%
営業外損益	270	252	△6.7%
経常利益	2,600	2,202	△15.3%
特別損益	0	76	—
税引前利益	2,600	2,278	△12.4%
当期純利益 (※)	1,623	1,438	△11.4%

(※) 親会社株主に帰属する当期純利益。

貸借対照表（連結）

MORESCO

単位：百万円

科目	19/2期末	増減	科目	19/2期末	増減
現預金	3,377	△339	仕入債務	4,527	288
売上債権	6,863	△148	有利子負債	2,948	△150
棚卸資産	4,666	486	その他流動負債	2,403	617
その他	500	153	その他固定負債	783	△12
流動資産計	15,405	152	負債合計	10,661	743
有形固定資産	9,231	1,204	資本金・資本剰余金	4,097	41
無形固定資産	1,275	△240	利益剰余金	11,701	953
投資その他	2,525	63	自己株式	△172	△172
固定資産計	13,031	1,027	包括利益累計額	78	△446
			非支配株主持分	2,072	61
			純資産合計	17,775	437
資産合計	28,436	1,179	負債・資本合計	28,436	1,179

注) 増減：18/2期末との比較

単位：ヵ月

科目	18 / 2期	19 / 2期
売上債権	3.0	2.9
仕入債務	2.8	2.8
棚卸資産	2.7	2.9

固定資産の内訳

MORESCO

単位：百万円

科目	18 / 2期	19 / 2期	増減
有形固定資産	8,027	9,231	+1,204
無形固定資産	1,514	1,275	△240
（内、のれん）	729	602	△127
投資その他	2,462	2,525	+63
（内、繰延税金資産）	26	29	+3
固定資産合計	12,004	13,031	+1,027
設備投資額	1,287	2,329	+1,042
減価償却費	1,171	1,251	+80

単位：百万円

科目	18 / 2期	19 / 2期	増減
短期借入金※	1,769	2,173	+404
長期借入金	1,329	775	△ 554
借入金合計	3,098	2,948	△ 150

有利子負債比率	11.4%	10.4%
---------	-------	-------

※ 1年以内返済予定の長期借入金を含む

連結株主資本等変動計算書（1）

MORESCO

単位：百万円

	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
2018年3月1日残高（会計方針の変更を反映）	2,098	1,958	10,748	△1	14,804
新株の発行	20	20			40
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		1			1
剰余金の配当			△484		△484
親会社株主に帰属する当期純利益			1,438		1,438
自己株式の取得				△172	△172
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額（純額）					
連結会計年度中の変動額合計	20	21	953	△172	822
2019年2月28日残高	2,118	1,979	11,701	△172	15,626

連結株主資本等変動計算書（2）

MORESCO

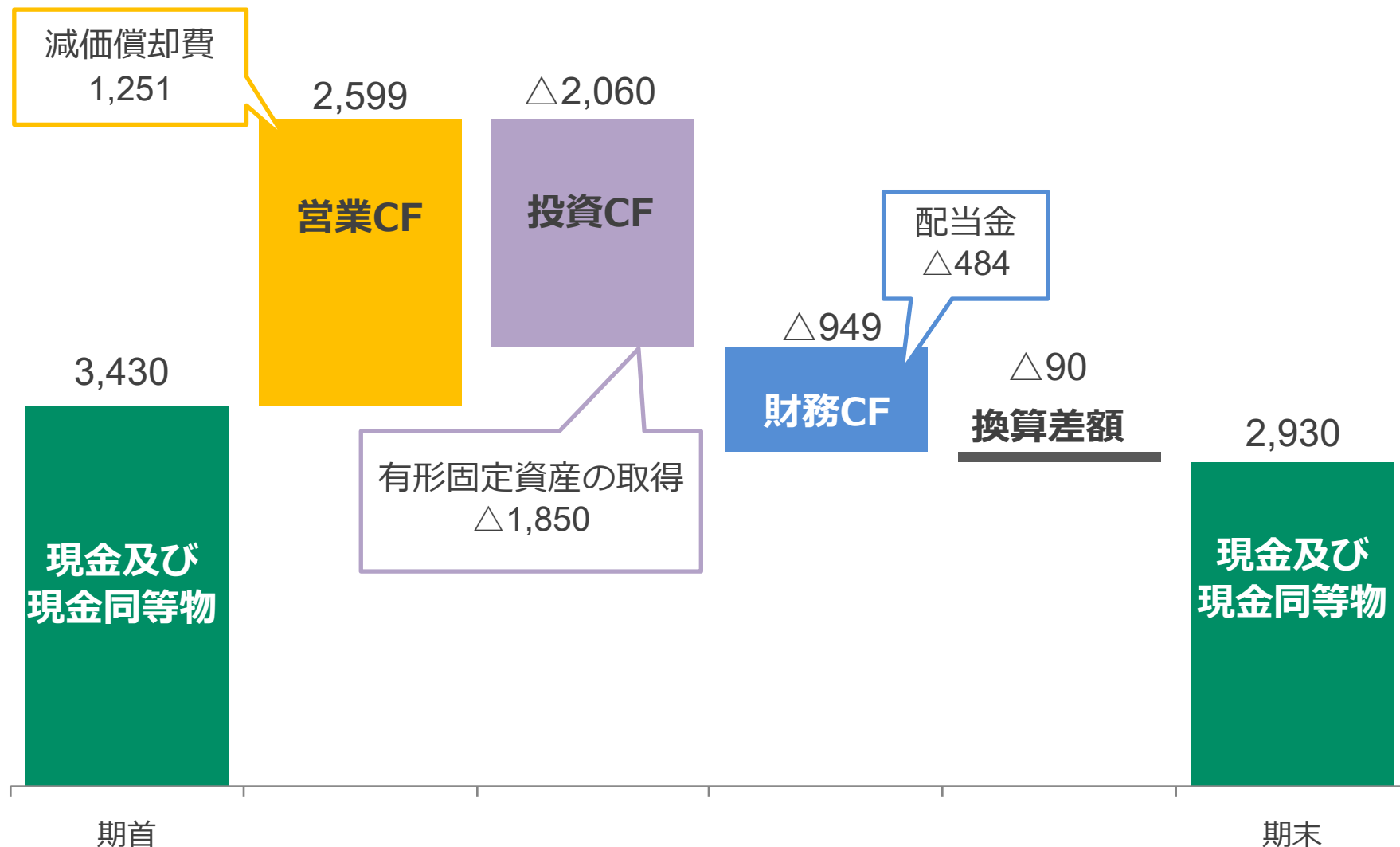
単位：百万円

	その他包括利益累計額				非支配株主 持分	純資産 合計
	その他有価 証券評価 差額金	為替換算 調整勘定	退職給付 に係る調 整累計額	その他 の包括利益 累計額合計		
2018年3月1日残高 （会計方針の変更を反映）	104	423	△2	524	2,011	17,339
新株の発行						40
非支配株主との取引に係る親会社の持 分変動						1
剰余金の配当						△484
親会社株主に帰属する当期純利益						1,438
自己株式の取得						△172
株主資本以外の項目の連結会計年度中 の変動額（純額）	△72	△390	15	△446	61	△385
連結会計年度中の変動額合計	△72	△390	15	△446	61	437
2019年2月28日残高	32	33	13	78	2,072	17,775

キャッシュフロー（連結）

MORESCO

単位：百万円



	18/2期	19/2期
1株あたり		
当期純利益	167.77円	148.85円
純資産	1,584.28円	1,637.29円
自己資本利益率（ROE）	11.1%	9.3%
総資本当期利益率（ROA）	6.2%	5.2%
売上高経常利益率	9.3%	7.6%
（参考）期末株主数	12,251名	15,847名

	18/2期	19/2期
当期純利益（連結）	1,623百万円	1,438百万円
配当額	435百万円	484百万円
1株当たり配当金	45円	※50円
配当性向(注)	26.8%	33.6%

※ 当総会にて確定

(注) 配当性向 (%) = 1株当たり配当金 / 1株当たり当期純利益

第6 1期

2. 計算書類のご報告

- 自動車関連製品が好調な一方、原材料価格上昇、ハードディスク表面潤滑剤の出荷減少等により利益が減少

単位：百万円

科目	18 / 2期	19 / 2期	前期比
売上高	17,513	17,813	+1.7%
売上総利益	6,054	5,938	△1.9%
販管費	4,913	5,025	+2.3%
営業利益	1,141	913	△20.0%
営業外損益	254	355	39.6%
経常利益	1,396	1,268	△9.2%
特別損益	91	76	△16.6%
税引前利益	1,486	1,344	△9.6%
当期純利益（※）	1,163	1,048	△9.9%

（※）親会社株主に帰属する当期純利益。以下同様。

貸借対照表（単体）

MORESCO

単位：百万円

科目	19/2期末	増減	科目	19/2期末	増減
現預金	400	△10	仕入債務	2,836	40
売上債権	4,384	△60	有利子負債	2,732	△61
棚卸資産	2,778	221	その他流動負債	2,284	632
その他	1,310	153	その他固定負債	563	△16
流動資産計	8,872	305	負債合計	8,416	595
有形固定資産	5,753	530	資本金・資本剰余金	4,097	40
無形固定資産	932	△197	利益剰余金	7,387	563
投資その他	4,188	319	自己株式	△172	△172
固定資産計	10,873	652	評価・換算差額等	17	△70
			純資産合計	11,329	361
資産合計	19,744	957	負債・資本合計	19,744	957

注) 増減：18/2期末との比較

第62期 業績予想

- 国内事業基盤の充実とともに、インド工場稼動をはじめとする海外での製造、販売を拡大。また、新製品開発にも注力

単位：百万円

科目	2018年度	2019年度予想	前期比
売上高	28,806	31,300	+8.7%
営業利益	1,950	2,150	+10.2%
経常利益	2,202	2,450	+11.3%
当期純利益	1,438	1,550	+7.8%

一株当たり配当金	50円	※50円	
----------	-----	------	--

※ 中間配当を実施 第2四半期末25円、期末25円を予定

第8次中期経営計画と新製品開発

- 多様な技術を集積し、強みを活かす研究開発により、高付加価値製品でトップシェアを獲得する。
- M & A、事業提携を活用し、新事業を創出する。
- 国内事業基盤をさらに充実させるとともに、成長する地域でのコア事業を強化する。
- 生産部門一人一人の意識改革により、品質の向上とコスト低減をすすめる。
- コンプライアンス・リスクに対して高い意識をもち、ステークホルダーの信頼を高める。

直近の業績と第8次中期経営計画（修正）

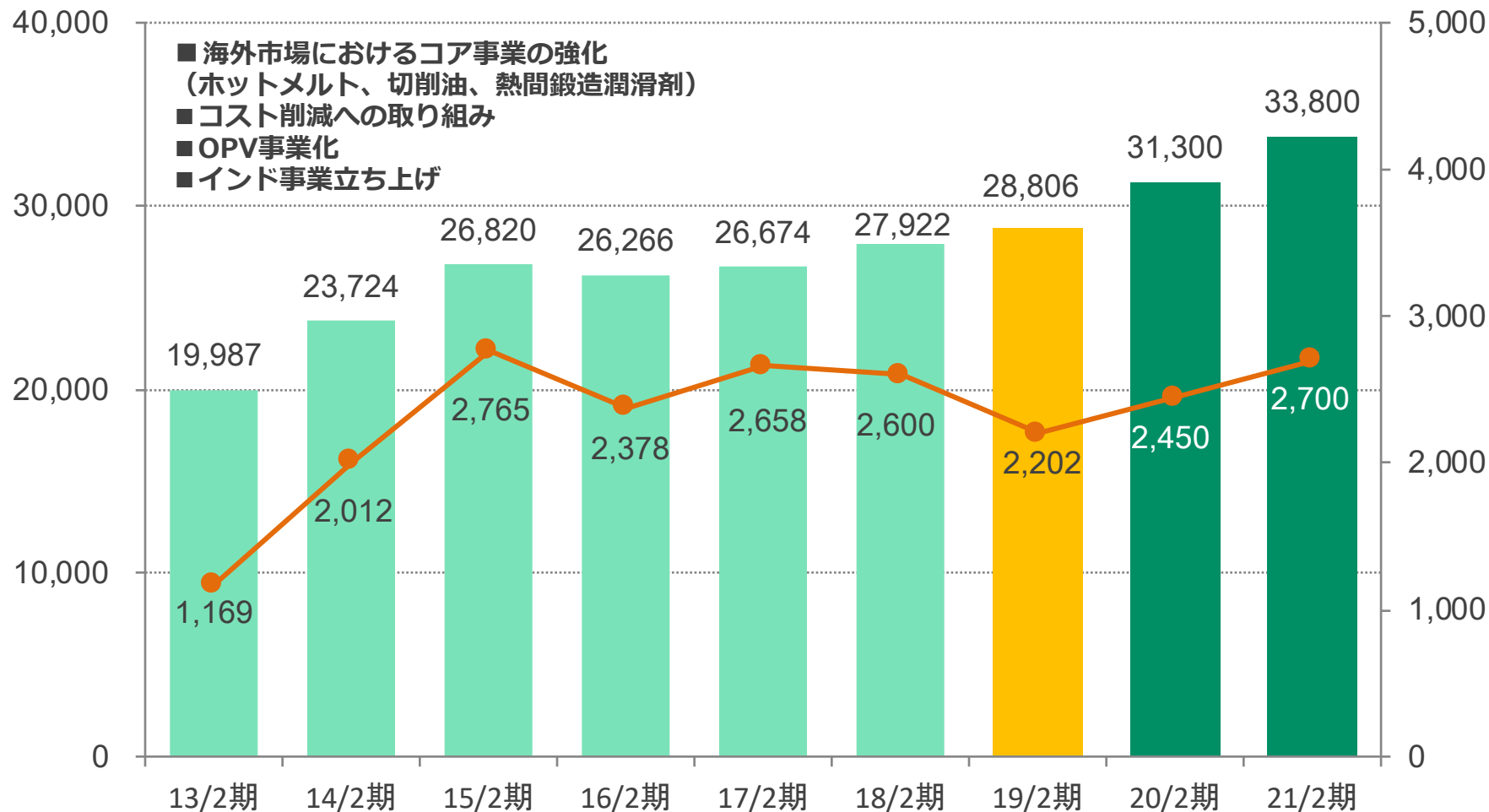
（2018～20年度）
2019/2/19発表

MORESCO

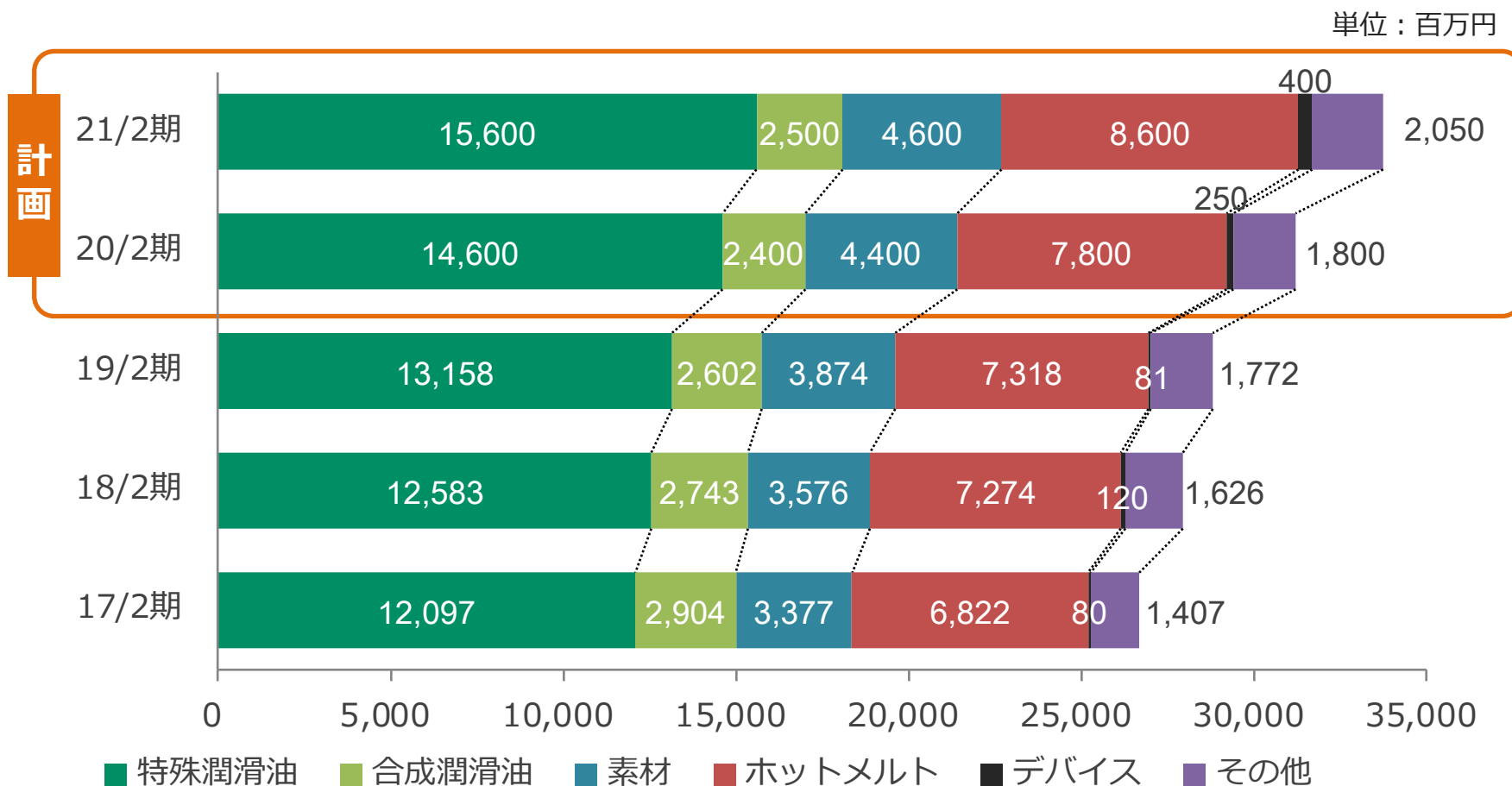
■ 13/2～18/2期売上高 ■ 19/2期売上高 ■ 20/2～21/2期売上高（計画） ● 経常利益

単位：百万円

単位：百万円



- 水溶性少量塗布型離型剤、低VOC型ホットメルト接着剤などの新製品を拡大



➤ 水溶性少量塗布型離型剤

➤ 希釈タイプと比べて約1/100の塗布量を実現

◆ メリット

- ・ 使用量減少によりお客様のトータルコストを削減
- ・ 廃液がほぼゼロになり、環境負荷を低減
- ・ 飛沫を防ぐことで作業環境を改善
- ・ 金型の長寿命化を実現（約2倍に延びた例あり）

従来品



少量塗布



➤低VOC型ホットメルト接着剤

- 有機溶剤を使用しないホットメルト接着剤から、わずかな揮発性有機化合物(VOC)も除去

◆メリット

- ・ 環境負荷を低減し、中国の環境規制に対応
- ・ 安全性をさらに向上させ、シックハウス症候群等を防ぐ



メディカル材料プロジェクト

合成技術・精製技術を創薬支援へと展開するため、大学など研究機関と共に開発を進める。



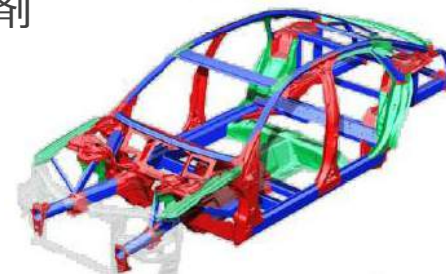
OPV開発部

有機薄膜太陽電池の量産化と用途拡大を図っている。



粉体離型剤プロジェクト

構造部材用離型剤



Fe → Al
-198 kg



成人男性（日本）
3人分

欧州の軽量化事例(Audi A8) 出典：audi.de

コート剤プロジェクト

ハードディスク表面潤滑剤は一種のコーティング剤



車両用コート剤



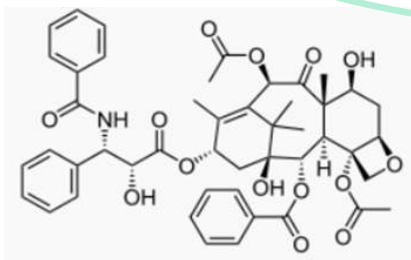
生活関連コート剤



ナノインプリント

➤ メディカル材料プロジェクト

ヒット化合物



① 創薬研究

構造活性相関解析

リード化合物

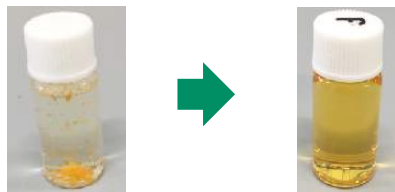


前臨床化合物



② ナノエマルジョン応用

化粧品・サブリへの展開



コエンザイムQ10
クルクミン等

先進アカデミアとの
共創

当社強みの合成化学
技術を生かして！

③ バイオ研究支援試薬

細胞成長促進剤
遺伝子デリバリー

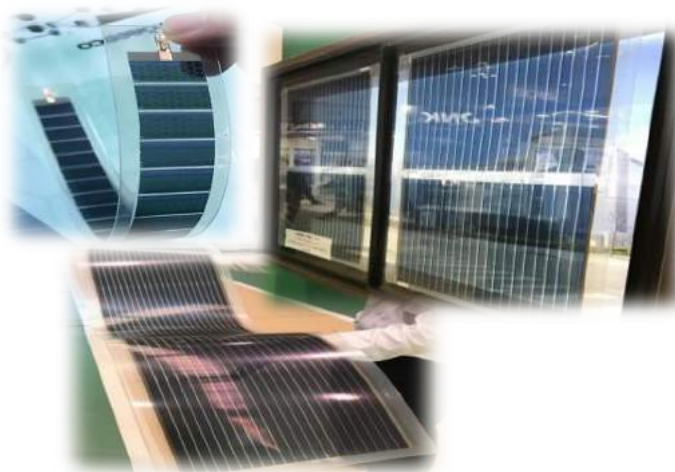


➤OPV開発部

◆有機薄膜太陽電池(OPV)の特徴

軽い、曲がる、カラー、シースルー

MORESCO OPV



様々な設置場所を想定可能



◆課題

- ・発電効率、安定性、寿命、材料（多種、変動）
- ・他の薄膜系と差別化された用途の発掘

➤ MORESCO HM&LUB INDIA PRIVATE LIMITED 工場建設状況

インドでの現地生産・販売による特殊潤滑油およびホットメルト接着剤事業の展開のため、2019年6月の稼動に向け、工場建設を進めています。



➤ 千葉工場新事務所棟の完成

2018年11月16日に千葉工場の新事務所棟が竣工式を迎えました。新たに研究設備を整え、将来へ向けた研究開発を進めます。



➤ 長期経営計画の始動

「MORE 'S' COMPANY MORESCO」をキャッチフレーズとする長期経営計画を策定しました。創立70周年を見据え、将来へ向けた取り組みを進めています。



➤環境にやさしい製品の開発

水溶性少量塗布型
離型剤

有機薄膜太陽電池
（OPV）

低VOC型ホットメルト
接着剤

廃水処理装置

➤当社拠点のある3市に福祉車両を贈呈（2013年度～）



2019年4月神戸市（兵庫）



2019年3月赤穂市（兵庫）



2019年3月市原市（千葉）

➤平成30年度神戸市環境奨励賞を受賞

神戸市から、環境に配慮した製品（ホットメルト接着剤、有機薄膜太陽電池（OPV）、ダイカスト用離型剤）の推奨・普及に努めている点、本社・研究センター周辺の清掃活動が評価されました。

➤ MORESCO流「働き方改革」

業務革新による労働生産性の向上、多用な働き方の推進、
定年再雇用制度の充実を図り、従業員が更に活躍できる
MORESCOを目指します。

取り組み内容

- ・ 有給休暇取得の奨励
- ・ 8月の会議を原則ゼロにする
「ハッピーオーガスト」
- ・ 女性管理職の積極的登用
- ・ 育児休業など各種制度の充実
- ・ フレックスタイムの充実



◆注力分野

- 【中国・東南アジア】特殊潤滑油、ホットメルト接着剤の更なる拡販
- 【インド】ビジネスを本格稼働させ、現地の需要を掘り起こす
- 【北米】現地人材の採用により営業・開発を強化。現地企業との取引を拡大
- 【デバイス材料事業】有機EL用封止材やガス・水蒸気透過度測定装置を中国で拡販

◆コスト削減

- 生産プロセスの抜本的改革（IoT活用の検討、BCPを念頭に）
- 原材料調達の安定化、コストダウン（グローバル調達、多様化、有利購買など）

◆新製品開発

- 次世代ハードディスク表面潤滑剤、水溶性少量塗布型離型剤等高付加価値品による利益の確保
- OPVの用途開拓と量産化を進め、再生エネルギーの利用拡大に貢献する
- 粉体離型剤、コート剤に加え、メディカル材料についてもテーマを拡大し、ビジネス化を目指す

◆働き方改革

- 多様な働き方の検討、導入により労働生産性を向上

- 主要な営業所および工場 （9頁）
- 従業員の状況 （10頁）
- 主要な借入先の状況 （10頁）
- 株式の状況 （11頁）
- 会社役員の状況 （12～15頁）
- 会計監査人の状況 （16頁）
- 業務の適正を確保するための体制 （17～21頁）

上記等に付きましては、第6 1期定時株主総会招集ご通知をご参照ください。

株式会社 MORESCO

小さくとも世界にきらりと光を放つ企業を目指して

第 6 1 期定時株主総会

(2018年3月1日～2019年2月28日)

東証第一部5018（石油・石炭製品）

2019/5/28

第1号議案【剰余金の処分の件】

第2号議案【取締役4名選任の件】

第3号議案【監査役1名選任の件】

第4号議案【会計監査人選任の件】

第1号議案 【剰余金の処分の件】

第2号議案 【取締役4名選任の件】

第3号議案 【監査役1名選任の件】

第4号議案 【会計監査人選任の件】

第1号議案 【剰余金の処分の件】

第2号議案 【取締役4名選任の件】

第3号議案 【監査役1名選任の件】

第4号議案 【会計監査人選任の件】

第1号議案 【剰余金の処分の件】

第2号議案 【取締役4名選任の件】

第3号議案 【監査役1名選任の件】

第4号議案 【会計監査人選任の件】

本社・研究センター



株式会社 **MORESCO**

2019/5/28

<http://www.moresco.co.jp/>
IR窓口 078-303-9058 (広報室)